

ア「『目指す子どもの姿』実現にむけた取組」

焦点化・重点化した内容	取組状況・児童生徒の様子	今後の課題・取組等
○郷土愛	<p>・ 絵画コンクールが本格的に始まった。家庭の協力を得て、夏休み中に描きたい風景の画像を準備することができた。下絵から描くと時間がかかってしまうので、画像から色を抜いた下絵を用意し、色の塗り方に重点を置いて取り組んでいる。地域おこし協力隊の方にも授業に参加していただき、生徒にアドバイスしていただいた。</p> <p>絵画コンクールは、順調に進んでいる。心に残る身近な柳津を再確認できるのではないかと考えている。(美術館に勤めている) 地域おこし協力隊の方にも授業に入ってもらい、スムーズにそしてレベルの高い作品づくりにつながった。</p> <p>せっかくの生徒たちのがんばりを校内ばかりでなく町文化祭や冬まつりの展示したくさんのいろんな賞をつくり、子どもたちのやる気や達成感を満たしていければいい。</p> <p>撮影した写真を塗り絵のような状態にできるアプリを使ったが、また、そのアプリを活用すれば、「柳津塗り絵」を冊子の形で作れるのではないかとというアイデアも出された。絵をみて町民の皆さんが再発見することも期待できるのではないか。</p>	<p>・ 賞を12個ほど考えている。また、町の文化祭に展示することで、町民の方が町の良さを再発見することもあるかもしれない。</p> <p>・ 本年度は絵画コンクール初年度で夏の風景だけであったが、来年度以降は四季折々の風景を題材にしていきたい。そうすると作品の幅が広がるのはもちろん、生徒の日頃からの柳津町の風景の見方が変わるのではないかと思う。</p> <p>子ども達が、常日頃から柳津の景色やポイントについて意識をして生活すると、さらに郷土に目が向いていくのではないか。本来であれば、タブレットを持たせて写真を撮らせたいが、ルール面や破損も心配される。撮影や写真のプリント等、保護者の理解と協力をいただいている。</p>

広報の具体策 (いつ、どこで、だれが、どのように)

	取組等の状況	今後の課題・取組等
児童生徒へ	・ 町の文化祭での展示。	
保護者・家庭へ		
地域へ		

イ 各学校、地域ならではの課題解決（観光、防災、安全、少子化等）

校長が特に協議を求めた内容	取組等の状況	今後の課題・取組等
		<p>・柳津町の伝統を守り継承していくことについて。喜多方市は日本三大ラーメンと呼ばれるほど喜多方ラーメンが有名になり、町おこしの大きなツールになっている。にもかかわらず、老舗の閉店が続いている。市役所にも苦情がきているという。高齢化・後継者不足が主な原因のようである。柳津町としても対策を講じないと、消えてしまうものが出てくるかもしれない。しかし、働く場所や生計を立てていく収入が得られないようであれば、子どもたちにそれを背負わせるわけにもいかない。</p>

各学校、地域ならではの課題等	解決に向けた取組・全体で協議したいこと等
<p>・稚児行列など、地域の行事において西山地区の人たちが集まりにくい状況があるのではないかと。そのあたりのフォローも必要である。</p> <p>・学力向上。</p> <p>・部活動について。学校のスタンスとして、学校にない競技を希望する場合、引き止めるわけにはいかないと考える。そういうことが増えていった場合、学校の部活動という組織・制度を守ることは難しいのではないかと。</p>	<p>ボランティア活動も話題に上った。ある施設からボランティア依頼が入り、生徒たちに投げかけたところ、3年女子を中心に結構な人数参加し、この週末活動してきた。誰かの役に立ちたいという気持ちがたくさんある生徒たちである。</p> <p>・塾について。</p> <p>学校でも勉強を教え生徒たちも頑張っているが、入試を考えると、塾に通わないと解くことが難しいレベルの出題もあり、町のどこかに塾のようなものがあると学力を（学校と）補完するような施設があるとさらによいのではないかと。例えば、夏季講習などの期間限定や小学6年生の中学校入学前の春休みに小学校の内容を復習して力をつけるようなつなぎ目の工夫があればいいという話が出された。</p>

は、部会後の全体協議で報告された内容。